

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査について(結果のポイント)

令和7年10月27日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
参 考 資 料 1

調査の概要

【目的】

小学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした児童の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

【時期、対象学年及び教科等】

○調査時期：令和5年2月6日（月）から令和5年3月3日（金）

○調査対象：公立小学校 1,170校（義務教育学校前期課程含む） ※全学校の約7.1%、無作為抽出
実施児童数（延べ） 120,378人

○内容：各教科で、①今回の改訂の基本方針に関する事項、②各教科等の主な改善事項（今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項）、③従来、課題とされている事項の視点に基づくペーパーテスト調査を実施するとともに、一部教科で実技調査を実施。あわせて、児童、教師、学校長を対象とした質問調査を実施。
（教師、学校長については、オンライン形式にて実施。）

- ・ペーパーテスト調査：第3～6学年 国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育（運動領域、保健領域）、外国語（英語）
- ・質問調査（学校）（児童、教師）：第2～6学年 生活、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動、外国語活動
- ・実技調査：第6学年 図画工作、家庭、体育（運動領域）、外国語（英語）

（主なポイント）

各教科のペーパーテスト調査の結果から

- 「知識・技能」について、事実に基づく「知識」は一定程度の定着が見られるものもある一方、「知識」の概念としての習得や、習得した「知識」を日常生活に当てはめたり、現実の事象と関連づけて理解することには一部に課題があると考えられる。
- 「思考力・判断力・表現力等の育成」の観点から、例えば児童が具体的な問いを見いだす点等については、定着が見られるものもあると考えられる一方、目的に応じた課題解決、自分の考えや根拠を明確に説明するといった点については、課題があると考えられる。

生活、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の質問調査の結果から

- 質問調査では、学習状況や学校生活等について概ね肯定的な回答が多く見られるが、同様の趣旨の項目において、教師の認識と児童の受け止めに差があるなど、課題が一部で見られる。

教育課程全体に係る質問調査

- 主体的・対話的で深い学びや、資質能力の3つの柱、見方・考え方などの学習指導要領が提唱する基本的な考え方については、現場の教育課程や学習指導の改善等に良い効果を与えたとの回答が多く見られる。
- 学習指導要領の趣旨実現を妨げる要素としては、多忙化や人員確保、研修時間の確保などの回答が多い。
- 標準授業時数について、教育課程編成に係る学校の裁量を広げることについては、多くの学校が賛成。年間授業時数を確保した上で、教科間の授業時数の調整を可能とするような取組を行ってみたいとする学校が多い。

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査について（ペーパーテスト調査等）

ペーパーテスト調査等の概要

● 調査実施校：小学校 1,170 校 実施児童数 120,378人（延べ数）

※1教科1問当たり、3,000人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。

● データを見るにあたって

○「1. 主な改訂のポイント」「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性」「4. 調査問題例」の4構成と「4」に対応する問題を別紙（問題例）で添付。

○「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができている」もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「4. 調査問題例」及び別紙において問題例（質問項目例）が示されている。

※実技調査については、対象教科（図画工作、家庭、体育（運動領域）、外国語（英語）のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。（1教科当たり350人程度：10校程度）

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果について（音楽）

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る言語活動の充実
- 我が国や郷土の音楽のよさなどを味わえるようにする学習の充実

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 音楽を聴いたり楽譜を見たりして旋律やリズムなどの特徴を捉えること、つくったリズムの特徴や、我が国や郷土の音楽（曲や演奏）のよさなどを言葉で表すことについては、相当数の児童ができている。
- 音楽を聴いたり楽譜を見たりして、音楽表現の工夫についての根拠を曲全体の構造と関わらせて考え言葉で適切に表すこと、音楽を形づくっている要素を聴き取り楽譜と結び付けることなどについては、課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・曲全体を捉えて、音楽表現を工夫したり曲や演奏のよさなどを味わって聴いたりするために、音楽を形づくっている要素を聴き取り、感じ取ったことと関わらせて考え言葉で表したり、楽譜と結び付けて音符や記号、用語を理解したりする指導を一層充実する。
 - ・音楽を形づくっている要素を思考・判断のよりどころとした学習活動を通して、実感を伴って「知識」を習得したり、必要性を感じながら「技能」を習得したりできるような指導の充実を図る。
 - ・生活や社会の中の音や音楽との関わりを深めるために、教科等横断的な視点を含め、音楽科の特性を生かしたカリキュラムの充実を図る。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/音楽）

つくったリズムの特徴について言葉で表す問題例

（別紙1参照）

- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・つくった4小節のリズムの特徴について、「伴奏のリズム」「変化」「くり返し」の言葉を1つ以上使って説明する問題を出題。
- 【通過率 87.1%】

民謡の曲や演奏のよさについて言葉で表す問題例

（別紙2参照）

- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・民謡「ソーラン節」を聴き、曲や演奏のよさについて考え言葉で表す問題を出題。
- 【通過率 80.3%】

音楽を聴いたり楽譜を見たりして、音楽表現の工夫についての根拠を考え言葉で表す問題例（別紙3参照）

- 第6学年 歌唱共通教材「こいのぼり」
- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・他者の考えた表現の工夫について、その根拠を音楽を聴いたり楽譜を見たりして、旋律の特徴や曲全体の構造と関わらせて考え言葉で表す問題を出題。
- 【通過率 46.3%】

音楽 第6学年 音楽づくり
つくったリズムの特徴について言葉で表す問題例

・ 6 A 2 (音源を用いた問題) 参考：導入部分と(2)

- 2** 音楽づくりについて、(1)から(3)の問題に答えましょう。
さちこさんの学級では、先生がつくった伴奏^{ばん}のリズムにのって、4分の2拍子^{びょう}、4小節のたいこのリズムをつくる学習をしています。

まず、先生がつくった伴奏のリズムをききましょう。

伴奏のリズム			
ドー—ン	ドー—ン	ドー—ン	カッ カッ
			 

この伴奏のリズムをききながら、さちこさんは、次のようなリズムをつくりました。伴奏のリズムといっしょに「さちこさんのリズム」をきいてみましょう。

さちこさんのリズム			
ドン ドン	ドッコドッコ	ド ドン コ	ドー—ン
 	   	  	

(2) 今度は、あなたが4小節のリズムをつくります。

【つくる条件】

- ・ 下の **1** から **8** のリズムを使う。
- ・ 同じリズムを2回以上使ってもよい。
- ・ 「さちこさんのリズム」とはちがうリズムをつくる。

まず、**1** から **8** のリズムをききましょう。

1 ド ドン コ   	2 (ウン) ドン  	3 ド ドー—ン  
4 ドッコドッコ    	5 ドー—ン 	6 カッ カッ  
7 ドン ドン  	8 ドン ドッコ   	

音楽 第6学年 音楽づくり
つくったリズムの特徴について言葉で表す問題例（続き）

音楽科 第6学年 A表現(3)音楽づくりA(7) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ることについて問う問題

○A 2 (3) つくった4小節のリズムの特徴について、「伴奏のリズム」「変化」「くり返し」の言葉を1つ以上使って説明する問題
このような問題から、音楽づくりの活動を通じた思考力、判断力、表現力等の育成の状況について測る。

【通過率 87.1%】

(3)の正答例 ((2)でつくったリズム：8・4・3・5)

伴奏のリズムとは全ての小節でリズムが変わるようにして、前半ははずむように、後半は伸ばすように変化させた。「8」と「4」では「ドッコ」というリズムをくり返した。

(3) (2)で、あなたがつくった4小節のリズムにはどのような特ちょうがありますか。その特ちょうを、(1)の文章を参考にしながら考え、下の【使う言葉】を1つ以上使って、□の中に書きましょう。

【使う言葉】

^{ばん} 伴奏のリズム 変化 くり返し

答 え	あなたがつくった4小節のリズムの特ちょう

(11)

音楽 第6学年 鑑賞
民謡の曲や演奏のよさについて言葉で表す問題例

音楽科 第6学年 B鑑賞(1)ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことについて問う問題

○音源を用いて民謡「ソーラン節」を聴き、曲や演奏のよさについて考え言葉で表す問題

このような問題から、鑑賞の活動を通した思考力、判断力、表現力等の育成の状況について測る。

【通過率 80.3%】

(4) この民謡^{みんよう}のよさを、かおりさんは、次のように考えました。
()に入る理由を音楽の特ちょうから考え、「歌声(声)」と「合いの手」という2つの言葉を使って、の中に書きましょう。

<かおりさんの考え>

この民謡は、みんなで仕事をがんばろうという気持ちが感じられる曲です。

なぜそう感じたのかというと、()

(4)の正答例

「は～どっこい」という合いの手にいきおいがあって、歌声も明るく、とても明るい気持ちになるし、おうえんしている感じがするから。

音楽 第6学年 歌唱

音楽を聴いたり楽譜を見たりして、音楽表現の工夫についての根拠を考え言葉で表す問題例

音楽科 第6学年 A表現(1) ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことについて問う問題

○他者の考えた表現の工夫について、その根拠を音楽を聴いたり楽譜を見たりして、旋律の特徴や曲全体の構造と関わらせて考え言葉で表す問題
このような問題から、歌唱の活動を通じた思考力、判断力、表現力等の育成の状況について測る。

【通過率 46.3%】

(3)の正答例

3段目の後半から、だんだん音が高くなり、4段目のはじめの音が、この曲の中で一番高い音になっているから。

(3) えまさんは、この歌の4段目の表現の仕方について、次のような思いをもちました。

わたしは、こいのぼりが風にふかれて勢いよく泳いでいる様子が伝わるように、3段目から4段目へのつながりを意識して、4段目のはじめを一番盛り上げて歌いたと思います。

えまさんがなぜそう思ったのか、「音の高さ」や「3段目から4段目へのつながり」に注目して、旋律の特ちょうから理由を考え、□の中に書きましょう。

3段目



4段目



答
え

(5)

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果について（図画工作）

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を一層重視
 - ・「A表現」及び「B鑑賞」の指導内容の明確化
 - ・第5、6学年で、鑑賞の対象に「生活の中の造形」を位置付ける
 - ・表現や鑑賞の活動で共通に必要な資質・能力〔共通事項〕の改善

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 想像したことから表したいことを見付けることは相当数の児童ができている。
- 生活の中の造形の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めることは相当数の児童ができている。
- 我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形の表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めることに課題があると考えられる。
- 表現方法に応じて材料や用具を活用すること、形や色などの造形的な特徴である、動き、奥行きを理解することに課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・児童が実際に見たり、触ったりするなどして、様々な感覚を働かせることができる活動を設定するとともに、材料や用具の効果や可能性に気付き、思いに合わせて工夫して表す過程を重視した指導を行う。
 - ・児童が自分のイメージをもちながら、発想や構想をすることを楽しめるよう題材の設定を工夫するとともに、比べて見る、対象を自分で選ぶなど、発達の段階や特性を踏まえた多様な鑑賞の活動を経験できるようにする。
 - ・児童がよりよい未来や生活への夢や願いをもったり想像したりすることを大切にし、感性を働かせ、つくりだす喜びを味わえるようにする。

4. 調査問題例（ペーパーテスト・実技 小学校/図画工作）

「想像したことから表したいことを見付けること」の問題例（別紙1、2参照）

- 「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連し、コンパスの働きを基に想像したことから、生き物について発想や構想をする問題を出題。
【通過率 88.7%】

「生活の中の造形の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」の問題例（別紙3参照）

- 「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連し、自分が選んだカレンダーの絵から感じ取ったことを、絵に表された対象の形や色などを基に説明する問題を出題。
【通過率 81.4%】

「我が国の親しみのある美術作品の表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」の問題例（別紙4参照）

- 「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連し、『昌平橋聖堂神田川』を鑑賞して、雨がやみそうだと感じた理由を雨、雲、空以外の形、色、動きを基に説明する問題を出題。
【通過率 53.3%】

「表現方法に応じて材料や用具を活用すること」の問題例（別紙5参照）

- 「技能の習得」に関連し、カッターナイフを活用し、表したいことに合わせて切り抜いたり切り起こしたりして工夫して立体に表す問題を出題。
【通過率 68.3%】

「想像したことから表したいことを見付けること」の問題例

図画工作 第6学年 コンパスの働きを基に想像したことから、生き物について発想や構想をする問題

この問題から、「思考力、判断力、表現力等（発想や構想）」が育成されている状況について調査した。

○配付されたコンパスを実際に動かして、コンパスの働きを確かめながら想像したことから表したいことを見付け、主題をどのように表すかについて考えることができる。

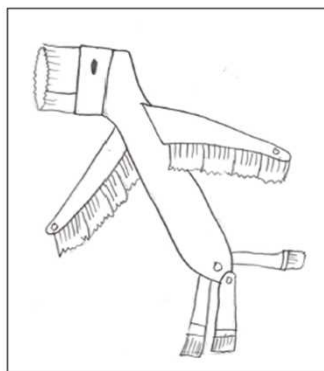
- 1 明子さんは、図画工作の時間に、絵の具と刷毛を使って絵を表す活動をしました。

刷毛をいろいろな向きで使っていると、まるで刷毛が生き物のようになってきました。



6図A-2

活動の後に、明子さんは刷毛から生き物を想像し、絵にしてみました。



明子さん

左の絵は鳥です。
羽を使って、色をぬ
ることができます。



太郎さん

「刷毛の全体の形」を体にして、足や尾も全体の形を小さくして組み合わせているね。
羽は、「刷毛」の毛の部分の形を組み合わせているよ。



花子さん

「刷毛」の毛をさわって、羽や尾にすることを思いついたのかな。

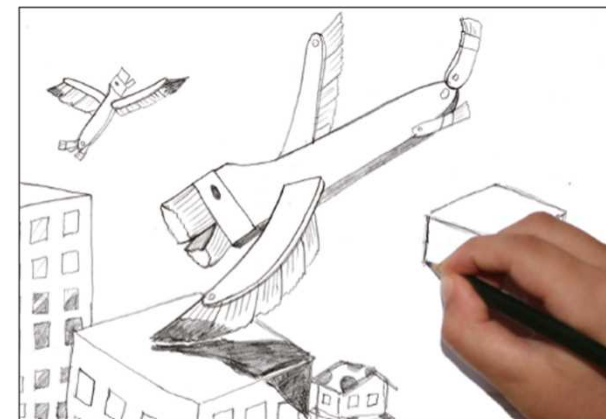


次郎さん

「刷毛でできること」をもとにして考えたんだね。

6図A-3

明子さんは、さらに、鳥が色をぬっている場面を想像して絵に表しています。



次郎さん

鳥が空を飛び回っているよ。



太郎さん

そうだね。鳥の体のかたむきや、羽を広げている様子から、鳥が飛んでいるような動きが伝わってくるね。



花子さん

周りの様子をかくことで、どこで、何をしているのか、伝わるようになるね。

6図A-4

「想像したことから表したいことを見付けること」の問題例

3人は、明子さんのように、身の回りにある用具から1つ選んで絵に表したいと思いました。

そこで、コンパスを選び、見たりさわったりして考えました。



「コンパスの全体の形」に、
全体の形や、部分の形を**組み
合わせて**生き物にしよう。



「コンパスでできること」
は、何かな。



想像した生き物は、「どのような動き」を
して、「どこ」で、「何をしている」のかな。

(1) あなたも、「コンパスの形」と「コンパスでできること」をもとに**生き物**を考え、その生き物が、どのような動きで、どこで、何をしているか想像して表しましょう。そして、それが伝わるように**周りの様子**も表しましょう。

その際、次の条件に当てはまるようにします。

条件

- ① 生き物は、「コンパスの全体の形」に、全体や部分の形を**組み合わせて**考える。
- ② 生き物は、「コンパスでできること」をもとに考える。
- ③ 周りの様子は、その生き物が「どのような動き」で、「どこ」で、「何をしている」のか考えてかく。

6図A-5

まず、配られたコンパスをいろいろな方向から見たり、動かしたりして、形の特ちょうや、できることを確かめましょう。

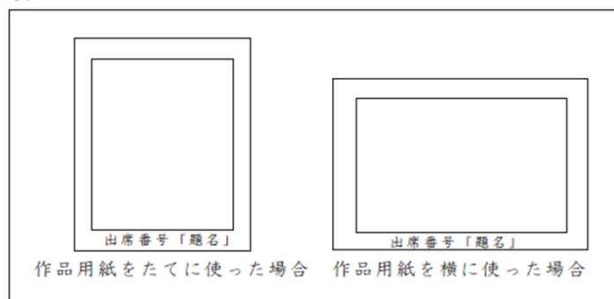
※作品用紙は、たてと横のどちらの向きで使ってもよいです。

※コンパスについている鉛筆は、取り外さないで使います。また、針の先でけがをしないように気をつけましょう。

※この冊子の空いているところは、アイデアスケッチをする場所として自由に使ってよいです。

・絵に表し終わったら、下の例のように、作品用紙のわくの下に**出席番号と題名**を書きましょう。

例



(2) 7ページの作品の説明例を参考にしながら、自分の作品の説明を、8ページの□の中に書きましょう。

6図A-6

条件② 正答例

コンパスの働き（円をかく、線をかく、長さを測り取る、閉じたり開いたりする、回る、針を刺す、穴をあける）を基に想像し、生き物の発想や構想をしていることが絵から分かる。

条件②【通過率 88.7%】

「生活の中の造形の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」の問題例

図画工作 第6学年 自分が選んだカレンダーの絵から感じ取ったことを、絵に表された対象の形や色などを基に説明する問題

この問題から、「思考力、判断力、表現力等（鑑賞）」が育成されている状況について調査した。

○自分たちの教室で使ってみたいカレンダーを選び、見る人のことを考えながら全体の印象について感じ取るとともに、そう思った理由について絵に表された対象の形、色、形や色の組み合わせなどを根拠に考えることができる。

(3) 花子さんは、話し合っていく中で、身の回りのものには、様々な形や色などの特ちょうがあると分かりました。

そこで、分かったことをもとに、3種類の同じ月のカレンダーを見比べて、自分たちの教室で使うカレンダーを選ぼうと思いました。



花子さん

同じ4月のカレンダーでも、比べて見ると形や色などの特ちょうがちがうね。

私たちの教室で使うカレンダーは、どれがいいかな。1つ選んでみよう。



次郎さん

教室で使ったとき、見る人がどのように感じるか考えたいね。

A



B



C



① あなたなら、A、B、Cの3種類のカレンダーのうち、どれを自分たちの教室で使ってみたいと思いますか。

選んだカレンダーの記号を、次の□の中に書きましょう。



② あなたが選んだカレンダーを教室で使ったら、見る人はどのように感じるとおもいますか。

また、そう思った理由を、あなたが選んだカレンダーの「形」、「色」、「形や色の組み合わせ」をもとに、それぞれ次の□の中に書きましょう。

見る人はどのように感じるか	そう思った理由 「形」、「色」、「形や色の組み合わせ」をもとに

(9)

②正答例

A 楽しい感じ：大きさの違うチョウがかかれていて、空を舞っているようだから など

B ゆったりとした感じ：タンポポがだんだん小さくかかれていて奥に広がりを感じるから など

C にぎやかな感じ：風船や汽車が鮮やかな色でかかれているから など

②【通過率 81.4%】

「我が国の親しみのある美術作品の、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」の問題例

図画工作 第6学年 『昌平橋聖堂神田川』を鑑賞して、雨がやみそうだと感じた理由を雨、雲、空以外の形、色、動きを基に説明する問題
この問題から、「思考力、判断力、表現力等（鑑賞）」が育成されている状況について調査した。
○2枚の絵を比べたり、じっくり見たりして、次郎さんが雨が止みそうに感じた理由について絵の中から着目する対象を自分で選び、その形や色、動きなどを根拠に考えることができる。



- ②正答例
- ・山：明るい緑色で、日の光が当たっているようだから。
 - ・鳥：連なって森から飛び立っているようだから。
 - ・木：緑がはっきりと見えているから。
 - ・人：姿勢がまっすぐでゆっくり歩いているように見えるから。など

(2) 次郎さんは、太郎さんと花子さんとは、別のことを感じ取りました。



次郎さん

Bの絵からは、もうすぐ雨が止みそうに感じるよ。

次郎さんが、Bの絵からもうすぐ雨が止みそうだと感じたのは、どのような理由からでしょうか。

次の①と②のそれぞれについて書きましょう。

① 理由を、「雨」、「雲」、「空」から1つ選び、その「形」、「色」、「動き」をもとに、次の□の中に書きましょう。

選んだものに○をつけましょう。	もうすぐ雨が止みそうだと感じた理由 「形」、「色」、「動き」をもとに
雨 雲 空	

(17)

② 理由を、「雨」、「雲」、「空」以外のものから1つ選び、その「形」、「色」、「動き」をもとに、次の□の中に書きましょう。

選んだものを書き ましょう。	もうすぐ雨が止みそうだと感じた理由 「形」、「色」、「動き」をもとに

②【通過率 53.3%】

(18)

「表現方法に応じて材料や用具を活用すること」の問題例

図画工作 第6学年 カッターナイフを活用し、表したいことに合わせて切り抜いたり切り起こしたりして工夫してタワーに表す問題

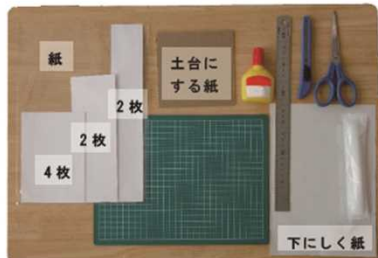
この問題から、「技能」が習得されている状況について調査した。※実技調査においては、調査の設計上、調査対象数(学校数・児童数)が限定されている

○紙を材料に使うことで自分が表したいと思ったタワーを立体に表す際、表したいことに合わせて適切な用具を選び、効果や可能性を確かめ、生かして使うことができる。

この問題では、紙を使ってタワーをつくります。

みなさんの机の上に、次のものがあります。

はさみ、カッターナイフ、定規、接着剤、土台にする紙1枚、手ふき、接着剤をつけるときに下にしく紙、カッターマット、袋に入った紙8枚

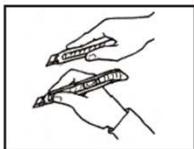


用具を安全に使うために、次の注意をよく読みましょう。

＜カッターナイフ＞



・刃は、2めもり出します。



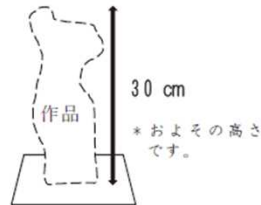
・大きな形を切るときは、上からおさえるように持ちます。
・小さな形を切るときは、鉛筆のように持ちます。
・切る形の大きさに合った持ち方で切りましょう。



・カッターマットの上で切ります。
・刃が進む方向に手を置きません。

指示があるまで中を開かないでください。

1 紙で立体の形を6個以上つくり、土台にする紙の上に組み合わせ、高さがおよそ30 cmのタワーをつくります。



まず、袋に入っている紙を使い、立体の形を6個以上つくり、土台にする紙の上に組み合わせ、高さがおよそ30 cmのタワーをつくります。そのとき、カッターナイフを使って、切りぬいたり切り起こしたりするなどしていきいます。そして、つくった立体の形どうしを、つけたたりつないだりして組み合わせます。

いろいろな方法でタワーをつくることができそうですね。

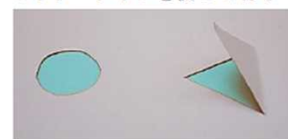
方法の例

立体の形をつくる



折る・まるめる など

カッターナイフを使って切る



切りぬく・切り起こす など

立体の形をつけたたりつないだりする



のりしろをつくってはる など



切りこみを入れて差しこむ など

あなたがつくってみたいと思う形のタワーを、いろいろな方向から見ながら、表し方を工夫してつくっていきましょう。

その際、次の条件に当てはまるようにします。

条件

① 立体の形を6個以上つくり、取れないようにじょうぶに組み合わせてつくる。

② カッターナイフを使い、切りぬいたり切り起こしたりするところを、全体で3か所以上つくる。

③ 高さは、およそ30 cmにし、タワーの形全体のバランスに着目してつくる。

※紙は、なるべく使い切りましょう。

※タワーは、土台の紙に取れないようにはりつけましょう。

「始めましょう」という指示があってから、つくり始めます。それまで、紙を見たりさわったりしながら、どのようなタワーをつくりたいか考えましょう。

条件②【通過率 68.3%】

2 5ページの作品の説明例を参考にしながら、自分の作品の説明を、6ページの□の中に書きましょう。

説明を書く時間は、作品をつくった後に10分間あります。